

第 21 期 事業年度

決 算 報 告 書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

本店所在地 下関市豊浦町大字室津下882番地

商 号 株式会社 フィッシャリーナむろつ

## 営 業 報 告 書

第21期(平成23年4月1日より平成24年3月31日まで)の営業概要につきまして報告いたします。

当期における経済社会情勢は、東日本大震災が発生する等の社会問題が発生している中で景気そのものは上向いているとは言い難く、地方はむしろ厳しい環境下にさらされています。

このような状況の中、個人消費も低迷しており、ましてやレジャー関係にまで投資する余力は差し控えられた環境下にあると思われる。

当社は、委託事業として、宿泊、食堂、艇保管事業を行っており、特に主幹事業である船艇保管については、今年の船艇保管契約数は55艇で、昨年より4艇減となりました。

艇保管料の徴収につきましては、完納となっています。

全体の保管可能艇数は90艇(第1棧橋62艇、第2棧橋28艇)に対し、現状第1棧橋42艇、第2棧橋13艇で保管率61パーセントとなっています。

棧橋施設の耐用年数も過ぎており、かなり老朽化している現状で、今年度も一層保安管理に重点を置き、当施設の維持管理には、本年度も強風による被害を受け、棧橋のメンテナンス費用として8,149千円を投資しており過去6年間で約32,079千円の保守経費を費やしました。このことは経営上、大きな問題点であり、施設そのものの急速な対応が急務であります。

本年度営業損益につきましては、総売上高22,313千円、営業費用16,402千円となっており営業利益は5,911千円となりました。

## 貸借対照表

平成24年 3月31日 現在

(単位: 円)

項 目	金 額	項 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		1 流動負債	
現金	0	買掛金	0
普通預金	17,032,320	短期借入金	0
未収入金	0	未払費用	0
艇保管料未収金	0	預り金	3,730
宿泊料未収金	0	その他	0
棚卸商品	11,442	未払法人税等	614,600
前払費用	0	流動負債合計	618,330
仮払金	0	II 固定負債	
その他の流動資産	0	長期借入金	0
貸倒引当金	0	預り契約保証金	15,920,000
流動資産合計	17,043,762	固定負債合計	15,920,000
II 固定資産		負債合計	16,538,330
(有形固定資産)	27,904,735	(純資産の部)	
建物	2,259,390	I 株主資本	
構築物 (アスファルト)	454,680	資本金	20,000,000
浮棧橋	24,934,891	資本剰余金	
給水設備	255,774	資本準備金	0
工具・器具備品	0	その他資本剰余金	0
その他の固定資産	0	資本剰余金合計	0
(無形固定資産)	0	利益剰余金	
電話加入権	0	利益準備金	0
(投資その他の資産)	0	その他利益剰余金	0
出資金	0	別途積立金	0
保険積立金	0	繰越利益剰余金	8,410,167
役員貸付金	0	利益剰余金合計	8,410,167
負担金 (第2浮棧橋)	0		
その他	0	自己株式	0
固定資産合計	27,904,735	株主資本合計	28,410,167
III 繰延資産		II 評価・換算差額等	0
		III 新株予約権	0
繰延資産合計	0	純資産合計	28,410,167
資 産 合 計	44,948,497	負債・純資産合計	44,948,497

## 損益計算書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

(単位:円)

項 目	金	額
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高		22,312,963
艇保管料収入	13,450,620	
委託料収入(市)	2,295,700	
宿泊・使用料収入	1,619,930	
食堂売上	4,946,713	
売上原価		2,080,203
売上総利益		20,232,760
販売費・一般管理費		14,321,522
営業利益		5,911,238
営業外収益の部		
営業外収益		
受取利息	1,816	
受取配当金	0	
雑収入	80,050	
営業外収益合計		81,866
営業外費用		
支払利息	31,843	
雑支出	58,799	
営業外費用合計		90,642
経常利益		5,902,462
特別損益の部		
特別利益		
固定資産売却益	0	
貸倒引当金繰戻額	0	
前期損益修正益	0	
特別利益合計		0
特別損失		
固定資産売却損	0	
貸倒引当金繰入額	0	
固定資産除却損	0	
特別損失合計		0
税引前当期純利益		5,902,462
法人税、住民税及び事業税		1,646,760
当期純利益		4,255,702
前期繰越利益		4,154,465
当期末処分利益		8,410,167

(注) 売上原価は食堂売上に対するもので、食材等の仕入にかかる費用である。

## 株式会社 フィッシャリーナむろつ

## 販売費及び一般管理費

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

(単位：円)

NO	科 目	金 額	摘 要
1	給 料 手 当	4,589,525	
2	通 信 費	98,952	
3	水 道 光 熱 費	1,566,638	
4	広 告 宣 伝 費	86,700	
5	接 待 交 際 費	46,450	
6	修 繕 費	766,630	
7	租 税 公 課	652,500	
8	消 耗 品 費	50,441	
9	建 物 減 価 償 却 費	330,561	
10	浮 棧 橋 減 価 償 却 費	5,132,047	
11	アスファルト減価償却費	160,380	
12	給水設備減価償却費	61,360	
13	負担金減価償却費	0	
14	施 設 管 理 費	429,235	
15	会 議 費	11,500	
16	損 害 保 険 料	8,360	
17	管 理 手 数 料	0	
18	地 代 家 賃	0	
19	研 修 費	0	
20	雑 費	330,243	
販売費及び一般管理費合計			14,321,522

## 株主資本等変動計算書

株式会社 フィッシャリーナむろつ

平成24年3月31日 現在

(単位：円)

	株主資本									評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己 株式	株 資 合 計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本剰余 金合計	利 益 準備金	その他利益剰余金								利 益 剰余金 合計
						別途積立 金	繰越利益 剰余金							
前期末残高	20,000,000	0	0	0	0	0	4,154,465	4,154,465	0	24,154,465	0	0	0	24,154,465
当期変動額				0				0	0	0				
新株の発行				0				0	0	0				
剰余金の配当				0				0	0	0				
剰余金の配当に伴 う利益準備金の積 立て				0				0	0	0				
				0				0	0	0				
当期純利益				0			4,255,702	4,255,702	0	4,255,702				4,255,702
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				0				0	0	0				
当期変動額合計	0	0	0	0	0	0	4,255,702	4,255,702	0	4,255,702	0	0	0	4,255,702
当期末残高	20,000,000	0	0	0	0	0	8,410,167	8,410,167	0	28,410,167	0	0	0	28,410,167

個別注記法による注記項目

I 重要な会計方針に関する注記

- ① この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。
- ② 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産 定額法
- ③ 棚卸資産の評価方法 最終仕入原価法
- ④ 消費税等の会計処理 税込経理方式を採用しております。
- ⑤ 貸借対照表の表示の変更 新会社法の施行に伴い、貸借対照表の「資本の部」を「純資産の部」として表示しております。

II 貸借対照表に関する注記

- ① 担保提供資産等  
なし
- ② 有形固定資産の減価償却累計額
- ③ 保証債務残高
- ④ 受取手形保証残高

III 株主資本等変動計算書に関する注記

- ① 当該事業年度の末日における発行株式の数 400株
- ② 当該年度中に行った剰余金の配当に関する事項 なし
- ③ 当該事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項 なし

IV 税効果会計に関する注記

V 関連当事者との取引に関する注記

VI 1株当たり情報に関する注記

VII その他の注記

# 監 査 報 告

(株)フィッシャリーナむろつ  
代表取締役社長 瀧岡 歳生様

## 1 監査概要

平成24年4月11日(水)午後3時00分より、下関市豊浦総合支所において、平成23年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の株式会社フィッシャリーナむろつの営業報告並びに収支決算報告書に基づいて帳票類、証拠書類等について監査しました。

## 2 監査意見書

監査の結果、私達監査役の意見は次のとおりです。

- (1) 営業報告並びに会計処理の内容は、適正に表示されていました。
- (2) 収支決算書は商法並びに本社定款に照らし、適正に処理され、財務状態を適正に表示されていました。
- (3) 財務状況については、昨年度で累積赤字は解消されていますが、栈橋のメンテナンス費用に多額の経費がかさんでいる状況です。しかしながら、今年度も経営の根本である艇保管料の回収においても未収はなく、経営努力していることが認められました。  
今後は、施設整備のために借り入れた借入金在今年度で全額返済となったことで、その分、自己資本の充実に向けた経営努力を一層求めます。

平成24年4月11日

監査役 原田 徹也



守永 賢治

